

の基金保有額として、6700万円。適正な基金保有額については、県からも示されていない。

カ月間の運動機能向上プログラムを実施し、運動機能を回復して元気に日常生活に戻っていただく事業である。

介護保険



通所型サービスC事業とは

竹田委員 新規事業だが、どのような内容で、期待される効果は。

当局 要支援1、2やチェックリスト該当者が対象。リハビリ専門職による3カ月から6

家族介護支援

竹田委員 家族介護支援事業の来年度の取り組みは。

当局 今年度は新型コロナウイルスの影響で旅行形式による交流会の実施を断念した。来年度は健康福祉センターを会場に、分散して少人数とし、研修会や交流会を実施し、多くの介護者の方々に集まっていたきたい。



事業会計

水道事業

水道管の老朽化

笹原委員 現在の水道管の状況、漏水の状況、今後の更新計画は。

当局 水道本管は平成4年から平成15年にかけて更新したので、老朽化している管は少なく、漏水は少ない。給水管の更新計画はないが、漏水が起こる給水管をその都度取り替えていく。



予算全般

新過疎法

遠藤委員 いわゆる過疎法がこの3月で失効する。現在の過疎法に準ずる新法に、本町は継続して適用となるのか。財政面においても有効な過疎法を活用して、まちづくりに尽力したい。

当局 過疎法が持続可能な取り組みとして続くということは確認させていた。来年度は新しい過疎計画を策定し、これからも過疎法を活用しながら地域づくりにまい進していきたい。

一般会計予算に対する賛成討論

笹原 俊一 議員



迅速確実な事業遂行を

人口減少対策やコンパクト・プラス・ネットワーク関連事業への支出が見込まれることから、より一層計画的に財政運営を行っていく必要がある。

う説明責任を果たしてもらいたい。

西廻り幹線道路の早期実現や国道348号の再整備に向け、沿線自治体をけん引してもらいたい。

令和3年度も「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」の四つの分野を施策の柱にして着実に進めるとしている。

ふるさと森林公園の再整備計画に伴いアルカディア財団に対する多額の財政支援がなされる。町民の理解が得られるよ

迅速かつ確実な事業の遂行により、町民の利益向上に期待する。

※反対討論はありませんでした。